

株式会社あいぼっくす

技術力と人間力を磨いて50余年



企画力
自信有
試作可
小ロット

手がける印刷物類

業務 いち早く デジタル化に対応

写真製版業からスタートし、50年以上も印刷関連業の技術革新を担ってきた。関西でいち早く情報のDTP（デジタル化）を実行し、平成9年にはCTP（デジタル刷版機）を、同時期にDTP用フィルム出力機も導入した。今やフィルムレスの時代となり、フロントエンドを担う企業に進化している。教科書などの教育関連を主業務としながら、UV印刷などの一般商業印刷や特殊印刷分野にも販路を広げ、得意とするブリプレス分野に加えデザイン制作、画像処理、修正および印刷、加工、納入まで幅広く受注している。デジタル化されたコンテンツを端末機種用変換業務に総合して「デジタル情報制作集団」としての体制を確立している。かつ完成品としての印刷物見本の作成に生かそうとしている。

強み 教育関連の仕事で 安定受注

教科書関連が主力で安定した受注がある。技術力は当然ながら信用が重要なカギを握る。「安全・安心」の評価を得ていることが強みといえよう。社員の平均年齢が若く、勤続年数15年以上の熟練技能者が多い。大西健彦社長は「今後20年にわたり現在の技術を維持できる」と語る。また近年はデザインから印刷、納品までの一貫体制を実現している。高品質、短納期要望に応え「満足」を提供していくために技術力向上を日常の課題として取り組んでいる。社員の緊張感、時代を先取りするチャレンジ心が「進化」を生み、全体の士気とチームワークを

情報 情報管理は徹底

高めていることが最大の強みだ。

教科書や企業の決算報告書など情報管理が不可欠な業務が主力だけに、取り組みは徹底している。24名の規模なので多能工化教育を施したうえで専門家集団として再組織。各工程担当者が明確な責任分担のもと業務を担う。情報漏えいを防ぐためだ。50年の歴史ある企業だけに社員の子弟が入社するケースも多く、全体の士気と結束力が強く、トラブルも発生しにくい。受注が安定しており、人材育成に取り組みやすいメリットもある。「徹底した情報管理も技術力のうち」と大西社長は確信している。

今後の 展望 最高の印刷物をつくる

紙への印刷物が将来、大きく伸びるとは考えにくい。紙以外の領域に印刷が変化するかもしれない半面、従来の印刷は確実に残る。だからこそ従来の技術力を温存し、付加価値が高くニッチな領域を発掘して事業として全国展開する。これまでも規模を追わず、特殊な領域を追求してきたからこそ生き残った。今後もその方針に変わりは無い。職人の5感、6感を重視しつつ、技術革新にも柔軟に対応する。そして小ロットで最高の印刷物を創出する。



本社

COMPANY PROFILE

株式会社あいぼっくす

大阪
26

当社の 歴史

昭和37年に画像修正の職人が集まって創業。この50年の間に製版技術は湿版、フィルム版、PS版、フィルムレスと目まぐるしく変遷してきました。時代の要請に応じて設備を更新し人材を育成してきました。教科書や美術印刷など難易度が高い業務を得意としており、技術レベルには自信を持っています。

当社はお客様が売りたい商品を売れる様に、また伝えたい情報を確実に表現します。

代表取締役 大西 健彦さん



■主な事業内容

企画、デザイン、制作、ブリプレス、校正、小ロット印刷、製本、納品まで

■主な取引先（納入先）

印刷会社、出版社、一般企業

住所／〒537-0011

大阪市東成区

東今里2-6-18

TEL／06-6977-6155

FAX／06-6977-6152

創業／昭和37年6月

設立／昭和37年6月

資本金／4,600万円

従業員／24名

<http://www.ibox-data.com>